



会津医療センターから

こんにちは！



【 1 】

副センター長兼附属病院長
棟方 充

『開設5年目 さらに充実』

こんにちは！会津医療センターの棟方です。本年4月、附属病院長として着任しました。

当センターは、福島県から、県立会津総合病院と県立喜多方病院を併せた会津統合病院を福島県立医大の第二附属病院として整備してもらえないかとの要請を受け、①地域完結型会津医療圏の整備、②専門領域に特化した高度先進医療の提供、③県立医大「会津キャンパス」としての研究・教育機能、④県の財政負担の半減、を目指して設立されました。私は、平成22年から24年までの2年間、会津医療センター準備室長として、その計画・設計から人材確保までをお世話させて頂きました。県内外から多くの優れた能力と技術を持った医師を招聘し、震災・原発事故も乗り越え、平成25年5月にオープンに漕ぎつけました。今回しばらくぶりに会津に戻り、開設5年目を迎えた医療センターの充実ぶりに驚いています。

このコラムでは、今、会津医療センターで行われている、最新かつ最先端の医療、緩和医療、リハビリテーション、訪問看護などの特徴ある取り組みを、第一線の医師・看護師・技師に登場してもらい、分かり易く紹介してもらおうと考えています。月1回の連載になりますが、どうぞ楽しみにして下さい。

なお、私は臨床医として40年ほど臨床現場で働いてきました。専門は呼吸器内科で感染症・呼吸器内科の一員として呼吸器疾患全般の診断・治療に携わっています。医療センターでは、昨年より呼吸器外科も設置し、肺がんなどへの対応も可能となりました。肺の病気でお悩みの方、どうぞお気軽にご相談ください。